第十二講・注文の多い料理店①（物語文）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

二人のわかいしんしが、すっかりイギリスの兵隊の形をして、ぴかぴかする鉄ぽうをかついで、白くまのような犬を二ひき連れて、だいぶ山おくの、木の葉のかさかさしたとこを、こんなことを言いながら、歩いておりました。

「ぜんたい、①ここらの山はけしからんね。鳥もけものも一ぴきもいやがらん。何でもかまわないから、早く②タンタアーンと、やってみたいもんだなあ。」

「しかの黄色な横っぱらなんぞに、二、三発お見まい申したら、ずいぶん痛快（つうかい）だろうねえ。③くるくる回って、それからどたっとたおれるだろうねえ。」

それは④だいぶの山おくでした。案内してきた専門（せんもん）の鉄ぽううちも、ちょっとまごついて、どこかへ行ってしまったくらいの山おくでした。

それに、あんまり山がものすごいので、その白くまのような犬が、二ひきいっしょに目まいを起こして、しばらくうなって、それからあわをはいて死んでしまいました。

「⑤実にぼくは、二千四百円の損害だ。」と、一人のしんしが、その犬のまぶたを、ちょっと返してみて言いました。

「ぼくは二千八百円の損害だ。」と、も一人が、くやしそうに、頭を曲げて言いました。

〈宮沢賢治（みやざわけんじ）「注文の多い料理店」より〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)　――線①「ここらの山はけしからんね」とありますが、なぜそう思ったのですか。

(2)　――線②「タンタアーン」とは、何の音を表した言葉ですか。

(3)　――線③「くるくる回って、……たおれるだろうねえ」の会話は、どんな感じで話しているように読み取れますか。次の中からもっともふさわしいものを選び、記号で答えましょう。

ア　動物の動きのはげしさにあきれている。

イ　動物を鉄ぽうでたおすことを楽しみにしている。

ウ　動物をうつことの重大さを思ってきん張している。

(4)　――線④「だいぶの」を別の表現でくり返している部分を文章中からぬき出し、初めと終わりの五字を答えましょう。

～

(5)　――線⑤「実にぼくは、二千四百円の損害だ」から分かることとしてもっともふさわしいものを次の中から選び、記号で答えましょう。

ア　犬の命よりも、お金のほうを大切に思っていること。

イ　もうけようと思って犬にお金を使っていること。

ウ　金持ちであることをじまんしていること。

(6)　二人の「しんし」について述べたものとしてふさわしいものを次の中から全て選び、記号で答えましょう。

ア　りょうし。　イ　遊びでかりに来ている。

ウ　動物の命をそまつにあつかって平気でいる。

エ　鉄ぽうのうち方がうまい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　**次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。**

そしてガラスの開き戸がたって、そこに金文字でこう書いてありました。

【どなたもどうかお入りください。①決してごえんりょはありません。】

二人はそこで、ひどく喜んで言いました。

「こいつはどうだ。やっぱり世の中はうまくできてるねえ。今日一日なんぎしたけれど、今度はこんないいこともある。このうちは料理店だけれども、ただでごちそうするんだぜ。」

「どうもそうらしい。決してごえんりょはありませんというのはその意味だ。」

二人は戸をおして、中へ入りました。そこはすぐろう下になっていました。そのガラス戸のうら側には、金文字でこうなっていました。

【ことに太ったおかたやわかいおかたは、大かんげいいたします。】

二人は大かんげいというので、もう大喜びです。

「君、ぼくらは大かんげいに当たっているのだ。」

「②ぼくらは両方かねてるから。」

□ろう下を進んでいきますと、今度は水色のペンキぬりの戸がありました。

「どうも変なうちだ。どうしてこんなにたくさん戸があるのだろう。」

「③これはロシア式だ。寒いとこや山の中はみんなこうさ。」

そして二人はその戸を開けようとしますと、上に黄色な字でこう書いてありました。

【当軒（とうけん）は④注文の多い料理店ですから、どうかそこはご承知ください。】

「なかなかはやってるんだ。こんな山の中で。」

〈宮沢賢治（みやざわけんじ）「注文の多い料理店」より〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)　――線①「決してごえんりょはありません」という言葉を、二人のしんしはどのように理解したのですか。文章中から九字でぬき出しましょう。

(2)　――線②「ぼくらは両方かねてるから」とは、何と何をかねているという意味ですか。

(3)　□にもっともよくあてはまる言葉を次の中から選び、記号で答えましょう。

ア　ざんざん　　イ　しんしん
ウ　ずんずん　　エ　ばらばら

(4)　――線③の言葉には、このしんしのどんな性格が表れていますか。次の中からもっともふさわしいものを選び、記号で答えましょう。

ア　料理店の主人をかばおうとするやさしい性格。
イ　外国にあこがれる夢見がちな性格。
ウ　知ったかぶりをするみえっぱりな性格。
エ　他人の意見に反対するひねくれた性格。

(5)　――線④「注文の多い料理店」という意味を、二人のしんしはどのように理解したのですか。文章中から九字でぬき出しましょう。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十二講・確認テスト

次の中から謙譲語を選びなさい。

1　ア　ごらんになる　イ　話される　ウ　お食べになる　エ　お聞きする

2　ア　お教えする　イ　お持ちになる　ウ　おいでになる　エ　お話しになる

3　ア　めしあがる　イ　おっしゃる　ウ　拝見する　エ　お休みになる

4　ア　ご質問なさる　イ　ご案内する　ウ　めしあがる　エ　ございます

5　ア　お出かけになる　イ　持たれる　ウ　ごらんになる　エ　さしあげる

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十二講　注文の多い料理店①（物語文）

一題目

(1)（例）鳥もけものも一ぴきもいないから。
(2)（例）鉄ぽうでうつ音。
(3) イ
(4) 案内してき ～ たくらいの
(5) ア
(6) イ・ウ

二題目

(1) ただでごちそうする
(2)（例）太っていることと、わかいということ（の両方）。
(3) ウ
(4) ウ
(5) なかなかはやってる

〈確認テストの解答〉

１　エ　２　ア　３　ウ　４　イ　５　エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。